

# 労災ケア通信

第84号

2023年8月15日

発行：一般財団法人  
労災サポートセンター

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-1-3  
飛栄九段北ビル10F

TEL 03-6834-2510(代表)

FAX 03-6834-2530

ホームページアドレス

<https://www.rousaic.or.jp>

## ケアプラザだより

### ケアプラザ岩見沢

#### 「ポッチャ大会」

介護課

新型コロナウイルスから類相当にはなりましたが、入居者の多くが基礎疾患を有し、高齢者の割合も高いケアプラザでは、感染防止のための制限はまだまだ続いています。

このような状況ではありませんが、入居者の皆様の楽しみの一つであるポッチャ大会を、令和5年5月17日



(水)に感染防止対策を行ったうえで、開催しました。

初参加の4名と施設長を含む15名が、トーナメント方式で対戦しました。

初めの方でも、経験者も、狙いを定めるときは真剣な表情となり、ナイスショットが決まると、周りからは「ナイスボール」、「すごい」等々、大きな歓声がかかる場面もあり、楽しい時間を過ごすことができました。

#### 「生け花の先生」

総務課

試合終了後、優勝者には施設長から賞状が渡され、たくさんの拍手が贈られていました。  
ポッチャの楽しさに気づかれた方や、リベンジに燃える方もおられて、次の開催を楽しみにしていただいています。

今年4月で93歳になられた入居者の伊藤三郎さんは、施設に入居する直前まで、地元元張市で生け花の先生をされていた。

用事があったてお部屋にお邪魔すると、施設の誕生会で贈呈された花束や、施設敷地内に咲いている花を利用した素敵な作品が飾られていることがあり、私たちの目を楽しませてくださいます。

生け花の先生になられたきっかけをお尋ねしたところ、炭



伊藤三郎さん



バラの作品



お花を活着している様子

鉢で働いていた22歳の時、先輩から「生け花を習ってみないか？」と誘いがあり、華道三大流派の「池坊(いけのぼう)」で学ばれたそうです。  
最初は「女のやる趣味じゃないか」と思いながらも、習ってみると徐々に興味が沸き、本を読んだり、人に教わりながら資格を取り続け、最後には家元のある京都で、4年間の修行も終えてきたそうです。

生け花の師匠としての看板は、今も自宅に掲げているとのことだ。「気づけば最初に声をかけてくれた

先輩ではなく、自分が先生になっってしまったんだよ。」と昔を思い出しながら笑顔で語ってくださいました。

北海道も夏

を迎え、花の季節になりました。ケアプラザで生まれ育った草花をふんだんに使った大きな作品を、伊藤先生に活けていただき、皆で鑑賞することを楽しみにしています。

### ケアプラザ富谷

### 「新緑を観る会」

総務課

5月17日(水)、施設近隣の七北田公園に、入居者の皆様と季節の花々を愛でに、久しぶりのお出かけ



ネモフィラをバックに  
たくさんの花を愛でる入居者様

を称えて植樹された記念樹「ゆづ桜」があります。今年、「ゆづ桜」の周りを、アイスリンクを連想させる水色のネモフィラで彩った「アイ

し。七北田公園には、羽生結弦選手のオリンピック連覇



花満開の公園で

スガーデンプロジェクト」が開催されました。残念ながら

桜の見頃は過ぎていましたが、一面に咲くネモフィラの水色は天気に恵まれとてもきれいでした。園内の花や緑からもたくさんさんのエネルギーをもらい、皆様楽しい時間を過ごされたようです。

5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に変更となりました。コロナ禍前の日常を、少しずつ戻して行けることを期待しています。

### 「富谷カフェオープン！」

総務課

6月14日(水)、待ちに待った富谷カフェを3年ぶりにオープンすることができました。富谷カフェは、近所のカフェに飲み物と茶菓子の

提供を依頼し、入居者の皆様に振る舞うイベントです。

会場となる多目的ホールと周りの廊下には、入居者のOさんに花の飾りつけを依頼し、写真のとおりとても華やかな雰囲気となり「会場が豪華で思わず参加しちゃったよ」とお話しされる入居者の方もいらっしゃ



花の飾りつけをしていただいた入居者様

いました。

当日は少し肌寒かったため、ホットコーヒーを注文さ

文される方が多く、紙コップが足りなくなるほどの大盛況!! カフェには、コーヒーや紅茶、ハーブティー、お茶菓子などが用意されており、思い思いのメニューを選んだ皆様からは、

「やっぱり豆から挽いたら味が違うね!」

「パウンドケーキ美味しい!」と、会場全体がとても嬉しそうな笑



こちらで注文いただけます

顔で溢れていました。新型コロナウイルスの5類移行により

イベントも徐々に復活していますが、一人ひとりの感染対策を怠らずに、入居者の皆様により豊かな生活を過ごしていただけるようにしていきたいと思ひます。

### ケアプラザ四街道

### 「買物ツアー」

行事実行委員会

6月21日(水)、買物ツアーが3年ぶりに再開されました。行き先は市内のショッピングセンターです。久しぶりの開催となったため、多くの方が参加を希望されたので、6月から9月までの期間に7つのグループに分かれて実施することとなり



待ちに待った買物ツアーです

美味しいような食品をお買物され、楽しまれていました。

### 「食中毒予防の勉強会」

管理栄養士 早瀬 美智子

梅雨の時期は気温や湿度が高くなるため、細菌性の食中毒が増加傾向となります。そこで、6月15日(木)、入居者の方々に食中毒予防についての勉強会を開催させていただきました。

食中毒菌には、いくら加熱しても死滅しないので芽胞をつくって生存する菌もありますし、特にこの時期は、食品を常温で放置すると食中毒菌が増殖しやすくなります。

個人で購入した食品は、保存方法

ました。今回参加された皆様は、現物を目で見たり、気に入った衣類や、



ないこと、また、食中毒の予防は食品に菌を付けないことが大切なため、食事前の手洗いの徹底を入居者の皆様にお願ひさせていただきました。

### ケアプラザ瀬戸

### 「移動スーパード始めました!!」

施設職員一同

新型コロナウイルス感染対策により、外出が制限されている入居者の皆様に対し、これまでインターネットショッピングによる買い物支援を行ってきましたが、この度、移動スーパード「とくし丸」さんに毎週木曜日、午前11時ごろ施設に来ていただ

を確認することを、食べかけの食品は速やかに食べないで、放置し

けることとなりました。

時間になると入居者の皆様は移動スーパードの周りに集まり、お買物を楽しんでおられます。

ちなみに、「とくし丸」には施設内売店では購入できない生鮮食品や冷蔵食品も積まれており、お刺身、お寿司、焼き鳥、焼き芋などが好評

のようです。



約30分という短い買い物時間ですが、今後も入

居者の皆様の笑顔のため、施設職員もお手伝いしたいと思っています。

### 「買い物ツアー再開」

施設職員一同

新型コロナウイルス感染対策のため買い物ツアーを3年ほど中止していましたが、感染状況が落ち着いてきたことから買い物ツアーを再開することにしました。



今年度は7月から3月までの奇数月に実施することとし、通院バスを利用して近くのショッピングセンターに出かけることにしています。

参加希望者を募ったところ、再開を待つておられた入居者の方々から次々と応募がありました。今後も感染対策に留意したうえで、施設職員が買い物同行支援をするなど、入居者の皆様の楽しみとなる機会を増やしていきたいと思っています。

### ケアプラザ堺

#### 「施設内散策」

行事委員

5月10日（水）、遷延性意識障害の入居者の方々を対象として、施設



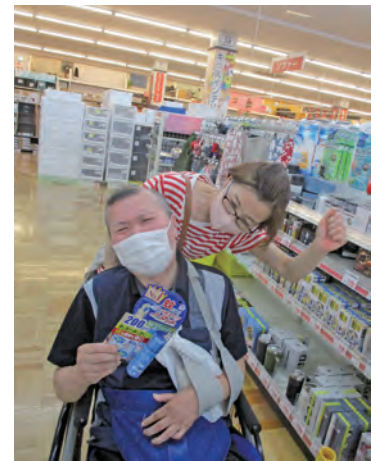
内の散策を行いました。普段は寝たきりとなっていた入居者の

方々にも、野外での空気を吸っていただきたいと、介護課のカンファレンスで協議し実施に至りました。新緑の中できれいな花を楽しみ、皆様の笑顔を見ることができて私たちも心が和みました。

#### 「令和5年度 買い物ツアー」

介護課

昨年に引き続き、コロナ禍での買い物ツアーを試験的に開催しまし



た。

居室で使用する家具などを購入することを目的に2班に分かれ、近隣のホームセンターへ出かけることにしました。

滞在時間を1時間程度とし、更にお店が込み合う時間帯を避ける等の感染防止対策を行いながら実施しました。

皆様、思い思いの商品を購入され、お買い物を楽しんでいただけたものと思います。

#### 「厚生労働審議官のご視察」

総務課

去る6月20日（火）、厚生労働審議官が、ご視察に来訪されました。ケアプラザ堺の入居の現状と業



務内容等についてご説明するとともに、館内をご案内し、施設の老朽化等

リハビリ室の視察



の問題点もご説明いたしました。

#### ケアプラザ具

#### 「ゲートボール大会（春）」

介護課

5月10日（水）、ゲートボール大会を開催しました。例年5月は雨天となり、中止になることが多いのですが、今年は晴天と、絶好の大会日和となりました。

初参戦の方、ベテランの方、そして施設長を含めた12名が2チームに分かれて対戦しました。

練習では穏やかな表情だった皆さんも、試合が始まると真剣な表情に変わります。打ったボールがゲート



を通過しなかつた時には悔しがる表情をされる方や、ゲートを通

した時には満面の笑みを浮かべ、全身で喜びを表現される方もいらつしやいました。また、同じチーム同士アドバイスをしながら戦略を考えた、また、チームに関係なく応援する姿も見られました。

なかなか外出もできない中で、季節を感じながら外気を吸い、参加者の皆さんはもちろん、応援に見えられた入居者の方々も、最後まで楽しまれ、日常のストレスを発散することができたのではないのでしょうか。

天候に恵まれ、気温も高くなりましたが、暑さ対策として帽子の着用や水分補給もしていたので、大会終了まで体調不良になる方を出さず、無事に終わることができました。

今後も入居者の皆様の生活に笑顔と活気ができるように行事を企画し、実行できるよう職員一同努めていきます。

## 「第一回オリエンテーリング」

介護課

6月28日(水)、ケアプラザ呉では、初となるオリエンテーリングを開催しました。

初めての行事なので、入居者の皆様に楽しんでいただくようと二カ月前から準備を始めました。

どなたにでも参加していただけるような企画とするとともに、ポスター掲示や館内放送で周知したこともあり、入居者の方々約20名が参加されました。



オリエンテーリングといえばチェックポイントです!!今回は四力所にチェックポイントを設置し、着ぐるみを着た職員とミニゲームで対戦し、ゴールを目指して



いただきました。

入居して間もない方の参加もあり、皆様の普段は見られない笑顔や仕草をみることができて、準備にあたった職員も頑張った甲斐があったと感じました。

オリエンテーリング終了後も入居者の皆様から「あのゲームは楽しかった。またやって!!」との声をいただいたので、第2回、第3回と開催していきたいと思えます。

入居者の皆様が安心して笑顔で過ごせるように、職員一丸となって取り組んでまいります。

## ケアプラザ新居浜

### 「観桜会」

総務課

4月5日(水)、今年度最初の季節行事「観桜会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、入居者の方々と職員だけの行事がしばらく続いています。今回は、地元のボランティアグループ「紙ふうせんふわり」の皆様をお招きして、三味線の演奏を披



露していただきました。三味線の音色が響く中、庭の桜を愛でながら



コーヒとお菓子を楽しんでいた。とができました。

これからも、十分な感染対策をとりながら、少しずつ以前の生活に近づけるように努力していきたいと思えます。

### 「七夕会」

総務課

6月21日(水)、エントランスホ



ールで七夕会を開催しました。  
 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々に行動制限を緩和するなかで、今回も、外部からボランティアグループ「(琴衛会) 四季の会」の皆様をお招きして、大正琴の演奏を披露していただきました。

入居者の方々は、お菓子をお召し上がりながら、流れるような音を楽しまれたようで、最後にはアンコールの声も上がり、楽しいひとときとなりました。

りました。

### ケアプラザ宇土

#### 「動植物園へミニドライブ」

行事運営委員会

5月24日(水)、熊本市の動植物園にミニドライブに行つて来ました。お天気にも恵まれて、4年ぶりに動植物園の動物たちの元気な姿を見ることができました。



たまたま二組の保育園児たちと一緒に、入居者の皆様も子供たちのかわいい笑顔からたくさん元気をもらわれた様子で、笑顔一杯で楽しい一日を過ごされました。コロナ前のように子供たちと直接ふれあえる日が一日も早く来ることを願っています。

#### 「恐竜博物館へミニドライブ」

行事運営委員会

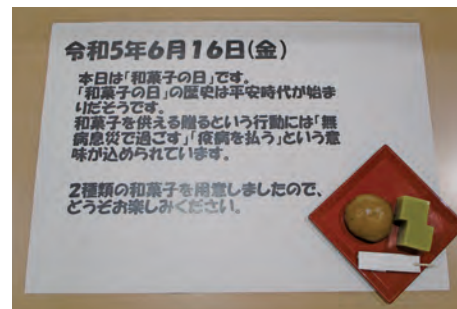
5月31日(水)は雨天となったため、当初の熊本市動植物園の予定を変更し、御船町恐竜博物館に行きました。



熊本県御船町は、一九七九年に日本初の肉食恐竜化石が発見された場所であり、今日では国内有数の恐竜化石産出地として国際的にも注目されています。恐竜博物館は、九州最大規模の骨格展示数を誇っており、大迫力の恐竜の全身骨格等に入居者様も熱心に見入っておられました。新型コロナウイルス感染症の5類移行を機に、感染防止対策を継続しながら外出の機会を少しでも増やして、入居者の皆様を楽しんでいただければ、施設行事に取り組んでいきます。

#### 「和菓子の日」

給食・栄養管理委員会



6月16日(金) 昼食時は「和菓子の日」にちなみ、デザートに2種類の和菓子を提供しました。食事の制限がある方もいらっしゃるため、お饅頭などの甘い物を提供する機会は少ないのですが、この日は特別に「お饅頭と手作りお茶羊羹」を提供しました。お食事中的入居者様にデザートのご感想をお聞きしたところ、「今日は何の日なの?」と、質問がありました。「今日は『和菓子の日』となっています」と、「わがし知らなかった」と、わたしと和菓子をかけたジョークがあり大笑いしました。甘いお菓子で心も会話も弾み、楽しい食事時間となりました。